



蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をかきながらも、園庭で元気にいろいろな遊びを楽しんでいます。園では、こまめに水分補給したり、部屋の風通しを良くしたりと、体調管理に気を配っています。季節の移り変わりを感じながら、楽しく過ごしていきたいと思います。



夏に多い感染症



手足口病にご注意を



手のひら、足の裏、口の中に小さな（米粒大）の発しんや水ぼうがでできる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることもある。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起したりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普通の食事ができるようになったら。

「ヘルパンギーナ」に注意

のどの奥に水ぼうがでできる「ヘルパンギーナ」がはやっています。夏かぜの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれないようなときは急ぎ病院へ。

- 症状**
- 38～40℃の高熱が2～3日続く
 - のどの奥に白いぶつぶつができる
 - のどの痛み
 - 食欲不振など

- ケア**
- かぜと同じケア
 - こまめな水分補給
 - 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごと消化のよい食事



熱が下がって、いつもどおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

目の症状が気になったら、こんな病気かも！？
どちらもアデノウイルスによる感染症です。感染力が強いので注意が必要。早めに受診しましょう。

プール熱

- 症状**
- 発熱（38℃以上）
 - のどの痛み
 - 目の充血
 - 目やに、涙
 - ※熱は3～5日続く

流行性角結膜炎

- 症状**
- 目の充血
 - 目やに
 - まぶたのはれ
 - ※ひどくなると発熱や下痢を伴うことも

- ケア**
- 対処療法が中心。のどごとよい食事にする
 - 水分補給をして脱水予防を

- ケア**
- 処方された目薬などを使う
 - タオルなどの共有をしない
 - 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う

※どちらも、登園には医師が記入した意見書が必要になります。



水筒の衛生管理

これからの季節、園でのこまめな水分補給のためには、水筒が不可欠です。

しかし、水筒の蓋やパッキン・ストローは洗浄や消毒を怠ると細菌が発生しやすく、不衛生になりやすいです。

使用後は、洗浄・消毒をしっかりと、常に清潔に使用できるようにすることが大切です。

【洗い方】

＊ブラシやスポンジを使い、台所用洗剤で洗って乾燥させる。

＊パッキンやストローなどはキッチンハイターなどで消毒する。

